

科目名	人間発達学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8 回	時間数	15 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 1年 前期
【授業の目的・ねらい】 人間の生涯に渡る発達を理解し評価・治療の基礎を学ぶ。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 人間の生涯に渡る身体的発達、認知的発達、情緒的・社会的発達、運動発達について学び、各発達との関連性を認識する。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 発達理論による生涯発達の把握。運動発達は発達段階と特徴を原始反射・姿勢反射と関係つけて覚える。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	発達と発達理論						教科書
2	出生前発達と出生						教科書
3	乳幼児前期、原始反射						教科書
4	乳幼児前期、姿勢反射						教科書
5	乳幼児後期						教科書
6	乳幼児後期						教科書
7	学童・青年期						教科書
8	成人・老年期						教科書
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 生涯人間発達学（上田礼子）三輪書店							
【準備学習・時間外学習】 小児科学や発達障害治療学とも関連が高いため、しっかり復習しておくこと。また、この科目での国家試験範囲としては毎年度1問程度であるが、発達過程については評価学での問題として出題されることから、習熟しておくことを望む。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 課題の評価を50点、定期試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							